

# 活性汚泥診断キャンペーン

～予防対策はお済でしょうか？～

期間:2014年5月1日～6月30日



BOD・窒素・リンを処理する上で活性汚泥法は広く活用されています。処理として対象物質を分解させ、フロックを生成する微生物を増やして沈降分離させます。しかし、微生物を扱う活性汚泥法は、維持・管理が非常に難しいといわれています。

## よくある活性汚泥不具合

1. 沈殿槽で微生物が沈降分離せずSSが流出してしまう
2. 糸状菌が発生して微生物が浮上してしまいSSが流出してしまう
3. 微生物が死滅してしまいBOD等の処理ができない
4. 活性汚泥濃度(MLSS)がバラつき微生物生息群が変化してしまう
5. 流入BODの変化があり、処理水が安定しない
6. 活性汚泥から臭気が発生し、対策に苦慮している

## キャンペーン内容

- ・お客様の活性汚泥を訪問・診断し、無償で診断書作成及び予防方法の的確なコンサルティングをいたします
- ・活性汚泥不具合が発覚したお客様に対しても無償で対処方法のコンサルティングをいたします

※対処方法に必要な薬剤等は有償となります

## 対象工場

- ・好気性活性汚泥がある工場全て

## 診断項目

- ・顕微鏡観察により生息微生物調査
- ・処理水の硝化反応
- ・返送汚泥の適正量判断
- ・曝気の適正量判断
- ・臭気発生有無
- etc

## 流れ

お客様カルテ作成

訪問日程調整

訪問・診断

診断書提出

総合環境企業



ミヤマ株式会社 環境商品事業部